

Information

第23回日本医療マネジメント学会学術総会

日程▶6月25日(金)～26日(土)

会場▶大阪国際会議場(大阪市)

テーマ▶今、医療・介護に大切なこと—変革に挑戦する

プログラム▶基調講演「医療福祉介護の現場の課題—連携を中心に」宮崎久義(日本医療マネジメント学会)／会長講演「今、医療・介護に大切なこと—変革に挑戦する」亀山雅男(ベルランド総合病院)／招待講演①「改革の進め方—コロナ禍時代の不安を乗り越えて」橋下徹(元大阪府知事)／②「箱根駅伝から学ぶ人材育成術—より良い組織作りがより良い人材を育てる」原晋(青山学院大学)／③「天気予報の活用と気象災害の備え」蓬萊大介(気象予報士)／特別講演①「2040年に向けての社会保障」中村秀一(国際医療福祉大学)／②「医療アライアンス法人構想—病院の新たなグループ化の提言」山本光昭(社会保険診療報酬支払基金)／③「コロナ後を見据えた日本の医療のこれから」迫井正深(厚生労働省)／教育講演①「新型コロナで医療が変わる—三位一体改革の行方」武藤正樹(衣笠病院)／②「自律的人材の育成—京都花街、舞妓の事例」西尾久美子(近畿大学)／③「医療の質を巡って—概念・測定法・利活用について」長谷川友紀(東邦大学)／④「医療デジタルマーケティングの今—オフラインとオンラインが融合する世界の幕開け」井上祥(メディカルノート)／教育セミナー①「如何にして院内院外のクリティカルパス活動を高めるか」倉都滋之(ベルランド総合病院)ほか／②「組織としての検討のあり方」坂本すが(東京医療保健大学)ほか／シンポジウム①「今、医療・介護に大切なこと—変革に挑戦する」田中滋(埼玉県立大学)ほか／②「臨床スタッフの負担を軽減する—ポリファーマシー—多職種による対策・連携」折井孝男(NTT東日本関東病院)ほか／③「これからの医療・介護領域を見据えた経営面からの栄養マネジメント—栄養管理情報の連携と栄養マネジメントが日本を救う」若林秀隆(東京女子医科大学)ほか／④「災害時

におけるBCP」高橋毅(国立病院機構熊本医療センター)ほか／⑤「特定行為研修制度のこれからの発展」増本陽秀(飯塚病院)ほか／⑥「医療安全を感染対策の視点から考える」賀来満夫(東北医科薬科大学)ほか／⑦「医師事務作業補助者—専門職としてさらなる高みを目指して」西澤延宏(佐久総合病院)ほか／⑧「医療における『品質管理』—第三者評価・クリティカルパス・QCサークル活動・PFMからTQMへ」山口(中上)悦子(大阪市立大学医学部附属病院)ほか／⑨「タスクシフティングはどこまで進んだか」武藤正樹(衣笠病院)ほか／⑩「IoT・ビッグデータ・AI時代の医療と介護」神野正博(恵寿総合病院)ほか／⑪「地域連携クリティカルパスで得られたもの」藤本俊一郎(香川県厚生農業協同組合連合会)ほか／⑫「これからの医療福祉介護連携で大切なこと—医療福祉連携士への期待・役割」中村起也(広南病院)ほか／一般演題(口演・ポスター)／クリティカルパス展示／ランチョンセミナー

参加費▶[当日] 一般1万円, 研修医5000円, 学生3000円

参加登録方法▶下記URLの参加登録ページより

<https://amarys-jtb.jp/jhm2021/>

問い合わせ先▶運営事務局

〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-13 コンブレ内

☎ 06-6229-2555

FAX 06-6229-2556

✉ jhm2021@congre.co.jp

<http://www.congre.co.jp/jhm2021/index.html>

第8回日本CNS看護学会(Web開催)

日時▶6月26日(土)～

テーマ▶人びとのいのちと暮らしを輝かす高度実践看護—その人らしいLife(いのち・生活・人生)を支えるために

プログラム▶大会長講演「人びとのいのちと暮らしを輝かす高度実践看護—その人らしいLife(いのち・生活・人生)を支える

ために」鹿内あずさ(北海道文教大学), 山田雅子(聖路加国際大学)／基調講演「CNSの創成と課題」南裕子(神戸市看護大学)／教育講演「専門看護師の魅力とは」湯浅美千代(順天堂大学)／実践報告「経済破綻した夕張から地域再生にむけての軌跡—夕張で活躍された永森医師と日本のマザーテレサ・秋山正子氏との対談から」永森克志(ささえる医療研究所), 秋山正子(ケアーズ)／市民公開講座「その人の生きる力を引き出すケア—感謝して, 人生を締めくくりたい」石垣靖子(北海道医療大学)／シンポジウム①「CNSが挑戦する専門看護師教育DNP—Doctor of Nursing PracticeはCNSの実践をどう深めるのか」佐藤直子(東京ひかりナースステーション), 宮本千恵美(順天堂大学)／②「人びとのいのちと暮らしを輝かす高度実践看護」桑田美代子(青梅慶友病院)ほか／パネルディスカッション「新型コロナ感染症対策の現状と今後の課題—CNSは何を考え, これからどうしようとしているのか」三浦美穂(久留米大学)ほか／共催セミナー①「死と逆境—意味づけできない現実に向き合うこととケア」村上靖彦(大阪大学)／②「送電線の電磁波って危ないの?—WHOの見解を紹介します」大久保千代次(電磁界情報センター)／③「在宅・地域医療における排尿ケア」土屋邦洋(かがやき総合在宅医療クリニック)

参加費▶[2次参加登録] 会員・賛助会員9000円, 非会員1万円, 院生5000円, 学部生1000円

2次参加登録締切▶6月26日(土)

申込方法▶大会Webサイトの参加登録フォームより

問い合わせ先▶運営事務局

〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A あゆみコーポレーション内

☎ 06-6131-6605

FAX 06-6441-2055

✉ jacns2021@a-youme.jp

<http://jacns2021.umin.jp/index.html>

第 17 回日本クリティカルケア 看護学会学術集会 (Web 開催)

日程▶7月1日(木)~31日(土)

テーマ▶クリティカルケアにおける多様性
への対応—Correspondence to Diversity
in Critical Care Nursing

プログラム▶会長講演, 特別講演, 教育講
演, シンポジウム, Web ハンズオンセミ
ナー, Web コンサルテーション, 一般演題
など

参加費▶会員 1 万 1000 円, 非会員 1 万
2000 円, 学生 3000 円

参加登録期間▶7月31日(土)12:00 まで
参加登録方法▶下記 URL の参加登録ペー
ジより

<https://jaccn.conf.it.atlas.jp/login>

問い合わせ先▶事務局

〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生
2-16-1 聖マリアンナ医科大学病院内

✉ 17jaccn@marianna-u.ac.jp

<https://site.convention.co.jp/jaccn17/>

第 34 回日本看護福祉学会 学術大会 (Web 開催)

日程▶7月10日(土)~11日(日)

テーマ▶最期までその人らしくいられるた
めの地域包括ケアへの挑戦

プログラム▶基調講演「人が最期の時を迎
えたい場所で迎えるため準備する事」村松
静子 (在宅看護研究センターLLP) / シン
ポジウム「一人暮らしの方の意思を最期ま
で支える」團野一美 (京都府訪問看護ス
テーション協議会) ほか / 市民公開特別講
演「最期までよい人生を支えるには…」大
石春美 (穂波の郷クリニック) / 特別企画
①「山間離島及びへき地における地域包括
ケアシステムの現状と課題」 / ②「東日本大
震災から 10 年—復興の様子と今後の課題」

参加費▶会員 6000 円, 非会員 7000 円,
大学院生 3000 円, 学生 1000 円

申込期間▶6月19日(土)まで

申込方法▶下記 URL の「事前参加フォー
ム」より
<https://u-sys.yupia.net/kf34/s-touroku>

php

問い合わせ先▶事務局

☎ 048-574-250

✉ kangofukushi.2021@tohto.ac.jp

<http://kangofukushi.sakura.ne.jp/>

第 26 回日本難病看護学会 学術集会 (現地開催+Web 配信)

日程▶7月17日(土)~18日(日)

会場▶シアーズホーム夢ホール (熊本県熊
本市)

テーマ▶難病ケアの本質を求めて—変わり
ゆくこと・変わらないこと

プログラム▶会長講演「難病ケアの本質を
求めて—変わりゆくこと・変わらないこと」
柊中智恵子 (熊本大学) / 基調講演「新しい
難病医療の構築に向けて」植田光晴 (熊
本大学) / 共催セミナー①「遺伝性神経難病
の診断・治療の歩みと発展—トランスサイ
レチン型家族性アミロイドポリニューロパ
チーをテーマに」三隅洋平 (熊本大学病
院) ほか / ②中外製薬 / ③ノバルティス
ファーマ / ④「家族性アミロイドポリニュー
ロパチーと遺伝カウンセリング (仮)」柴
田有花 (北海道大学病院) / 特別講演「難
病制度の変遷—過去・現在・未来」川村佐
和子 (聖隷クリストファー大学) / シンポ
ジウム①「難病ケアと COVID-19 感染症」
小森哲夫 (箱根病院) ほか / ②「難病医療
における遺伝のケア Part 1」武藤香織 (東
京大学) / ③「自然災害時の人々の暮らしを
守る難病ケア—地震・豪雨災害をどう生き
るか」三井栄美 (熊本県天草保健所) / ④
「小児在宅医療におけるケアの本質」松尾
睦 (翼) ほか / ワークショップ「難病医療
における遺伝のケア Part 2—様々な患者会
からのビデオレター (予定)」関屋智子
(金沢大学) ほか / 交流集会①「難病の親を
持つ子どもたち」橋本佳代子 (ALS を実親
に持つ娘の会 ALS48) ほか / ②「在宅人工
呼吸器装着者への多職種での事故防止を考
える—危険予知トレーニング (KYT) 研修
から」飯田苗恵 (群馬県立県民健康大学)
ほか / ③「難病と障害のある子どもの防災
を考える—みんなが一緒に助かるためにで
きること」阪上由美 (大阪信愛学院短期大

学) ほか / ④「神経難病療養者の心のケア
として“聴く”ことを考える」原三紀子
(東邦大学) ほか / 教育セミナー①「神経難
病とともに生きるを支えるケア—ALS ケア
を中心として」中山優季 (東京都医学総合
研究所) / ②「コミュニケーション支援の本
質を求めて」佐々木千穂 (熊本保健科学大
学) / 市民公開講座「苦境のときに活かす
こころのレジリエンス—希望のクラスター
を生み出そう」山本トースネスみゆき (EQ
College) / 一般演題

参加費▶会員 8000 円, 非会員 9000 円

事前参加登録締切▶7月11日(日)まで

参加登録方法▶下記 URL の参加登録画面
より

<https://orsam.jp/nanbyo26/login>

問い合わせ先▶運営事務局

〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺
1-5-3 熊本第 2 ビル 101 号 コンベン
ションサポート九州内

☎ 096-373-9188

☎ 096-373-9191

✉ jiins2021@higo.ne.jp

<http://jiins2021.umin.jp/index.html>

第 25 回日本看護管理学会 学術集会 (現地開催+Web 配信)

日程▶8月28日(土)~29日(日)

会場▶パシフィコ横浜ノース (横浜市)

テーマ▶持続可能な社会をリードする創造
的看護管理

プログラム▶学術集会長講演「持続可能な
社会をリードする創造的看護管理」叶谷由
佳 (横浜市立大学) / 特別講演①「持続可能
な社会をリードする医療政策—神奈川県
の取組 (仮)」黒岩祐治 (神奈川県知事) / ②
「COVID-19 に挑む日本看護協会 (仮)」福
井トシ子 (日本看護協会) / ③「COVID-19
に挑む ICN (仮)」Annette Kennedy (国
際看護師協会) / ④「感染症を蔓延させない
水際対策の政策的提案 (仮)」富岡勉 (衆
議院議員) / 教育講演①「少子高齢社会にお
ける持続可能な医療介護体制 (仮)」近藤
克則 (千葉大学) / ②「COVID-19 禍で柔
軟に対応するリーダーシップ (仮)」中島
和江 (労働者健康安全機構) / シンポジウ

ム①「看護の本質と管理（仮）」川村佐和子（聖隷クリストファー大学）ほか／②「COVID-19 禍で柔軟に対応するリーダーシップ（仮）」江守直美（福井県看護協会）ほか／③「看護におけるリアルワールドデータ（RWD）を活用した研究の最前線（仮）」窪田和已（横浜市立大）ほか／④「これからの時代の看護職の新しい仕事づくり（仮）」菅原由美（キャンパス）ほか／パネルディスカッション／市民公開講座／一般演題（口演・示説）／インフォメーションエクステンジ／共催セミナー

問い合わせ先▶運営準備室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 14 階 日本コンベンションサービス内

☎ 03-3508-1214

FAX 03-3508-1302

✉ 25janap@convention.co.jp

<https://site.convention.co.jp/25janap/>

第 15 回日本慢性看護学会 学術集会（Web 開催）

日程▶8 月 28 日（土）～9 月 17 日（金）

テーマ▶豊かな人生をつむぐ慢性看護

プログラム▶会長講演「慢性病者の豊かな人生をつむぐ地域医療連携」古賀明美（佐賀大学）／基調講演「拡大する看護の役割—人生 100 年時代をどう支えるか」秋山正子（マギーズ東京）／特別講演「慢性病者を支える県単位での組織づくり」安西慶三（佐賀大学）／教育講演①「スティグマにおける慢性病者の思いとケア（仮）」黒江ゆり子（岐阜県立看護大学）／②「人的資源が少ない中でも実行可能な倫理コンサルシヨンの取り組みかた」板井孝吉郎（宮崎大学）／③「慢性病に罹患しても仕事をあきらめない—治療と仕事の両立支援の要点」立石清一郎（産業医科大学）／④「軽症・中等症慢性閉塞性肺疾患患者への看護外来支援」田中孝美（日本赤十字看護大学）／指定交流集会「急性増悪した ALS 疑い患者の意思決定支援—CNS の倫理調整を振り返る（仮）」慢性疾患看護専門看護師研究会／シンポジウム①「高齢者の望む生活を支える看護者の調整力」原崎真由

美（織田病院）ほか／②「慢性病をもつ人を支える外来および地域での看護—豊かな人生をつむぐ療養支援」不動寺美紀（福岡赤十字病院）ほか／編集委員会企画「慢性看護学の知の創出への道：オンライン投稿へのすすめ“論文を 投稿しよう！”」／研究交流推進委員会企画「慢性疾患患者が『生き生きと生活すること』を支える伴走モデルの実践での活用について考える（仮）」／共催セミナー／一般演題／示説（デジタルポスター）

参加費▶［事前参加］会員 9000 円，非会員 1 万 1000 円，［当日参加］会員 1 万円，非会員 1 万 2000 円，大学院生 8000 円，学生 3000 円

事前登録期間▶8 月 13 日（金）正午まで

当日登録期間▶8 月 16 日（月）正午～9 月 8 日（水）正午

参加登録方法▶下記 URL の「事前参加登録はこちら」ボタンより

<https://mansei15.com/sanka.html>

問い合わせ先▶学術集会事務局

〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島 5-1-1 佐賀大学医学部看護学科内

FAX 0952-34-2546

✉ 2021mansei15@ml.cc.saga-u.ac.jp

<https://mansei15.com/index.html>

日本家族看護学会第 28 回 学術集会（現地開催＋Web 配信）

日程▶10 月 2 日（土）～3 日（日）

会場▶東京大学本郷キャンパス安田講堂（東京都文京区）

テーマ▶勇気をもって，新たな知の冒険へ

プログラム▶大会長講演「家族看護学の研究方法：勇気をもって新たな知の冒険へ」山本則子（東京大学）／特別講演「新たな感染症の時代の看取りと悲嘆」島菌進（上智大学）／教育講演「ビッグデータで見えてくる家族の健康」康永秀生（東京大学）／教育講演「看護実践の事例研究の学術性」家高洋（東北医科薬科大学）／シンポジウム①「26th-27th-28th つながるシンポジウム：With Corona 時代の家族看護」／②「家族看護学研究の冒険：研究方法の更なる多様性に向けて」／③「家族看護実践

の冒険：新たな実践の枠組みを創る」

問い合わせ先▶学術集会運営担当

〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 9 階 プロコムインターナショナル内

☎ 03-5520-8821

FAX 03-5520-8820

✉ jarfn28@procom-i.jp

<https://procomu.jp/jarfn2021/index.html>

*掲載している情報は 5 月 7 日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。